

平成29年度

香芝市議会
行政視察研修報告書



建設水道委員会

香芝市議会 建設水道委員会

I 概要

香芝市議会 建設水道委員会 県外視察研修（平成29年度）

1 日程 平成29年11月7日（火）～11月8日（水）

2 出席者 （委員長）河杉 博之 （副委員長）筒井 寛
（委員）小西 高吉 （委員）関 義秀
（委員）鈴木 篤志

都市創造部部長 議会事務局職員

以上7名

3 視察地

（1）岐阜県関市役所

岐阜県関市若草通3丁目1番地

人口：89,619人（H29.9.1現在）

面積：472.33km²

（2）静岡県御前崎市役所

静岡県御前崎市池新田5585番地

人口：89,507人（H29.10.1現在）

面積：65.56km²

4 視察事項

（1）関市・・・中池公園の整備事業について

（2）御前崎市・・・市民プール「ふるる」の整備事業について

本委員会は、平成29年9月議会において上記のとおり派遣を議決され、視察事項のとおり研修を行った。

まず、11月7日の午後に関市役所を訪れ、視察事項の説明を受けた後、中池公園に向い、プールやファミリーゾーンなどの説明を受けた。

翌、11月8日には御前崎市役所を訪れ、視察事項の説明を受けた後、市民プール「ふるる」に向かい、施設の概要について説明を受けた。

実施委員は、11月8日の夕刻に帰郷した。

II 研修内容のまとめ

日 時：平成29年11月7日（火）

視 察 地：岐阜県関市

研修内容：中池公園の整備事業について

●関市の概要

関市は岐阜県のほぼ中央部にあり、平成17年の市町村合併により面積472.33平方キロメートル、人口89,507人で「V」字型の地形となっている。

「日本一の刃物のまち」として全国に知られており、鎌倉時代に刀祖・元重がこの地に移り住み刀鍛冶を始めたといわれています。室町時代には刀匠も300人を超え「折れず曲がらずよく切れる」という関の刀はその名を全国に広めました。



関市議会三輪議長より歓迎挨拶

●中池公園の概要

【施設の概要】

施設名称	施設内用	開設年月
陸上競技場	陸上400m×8レーン（全天候型トラック） サッカー、ラグビー1面	昭和39年4月
テニスコート	10面（スタンド付）夜間照明有（5面）	昭和48年5月
中池市民プール	50メートル：9コース 水深1.3～1.5m	昭和49年9月
	幼児プール：水深30～50cm	昭和53年8月
中池自然の家	研修室、宿泊室、浴室、食堂、集会室	昭和51年4月
	クラフト室	平成6年3月
市民球場	野球一面	昭和52年4月
中池体育館	バレーボール2面、バスケットボール1面	昭和56年4月
多目的広場	芝生広場	平成2年10月
グリーン・フィールド中池	サッカー、ラグビー1面（スタンド付）	平成12年10月
中池東グラウンド	野球、ソフトボール1面 ※学童2面	平成26年4月
中池ファミリーパーク	遊具広場、芝生広場、野外炊事場	平成26年7月

【利用人数】

施設名称	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
陸上競技場	49,215	33,538	23,931
テニスコート	24,918	48,323	40,876
中池市民プール	7,029	7,109	7,379
中池自然の家	15,494	15,597	15,223
市民球場	21,790	15,810	8,737
中池体育館	6,025	13,565	13,624
多目的広場	70,330	21,018	33,830
グリーン・フィールド中池	34,370	18,599	19,454
中池東グラウンド	13,502	10,949	10,179
合 計	242,673	184,508	173,233

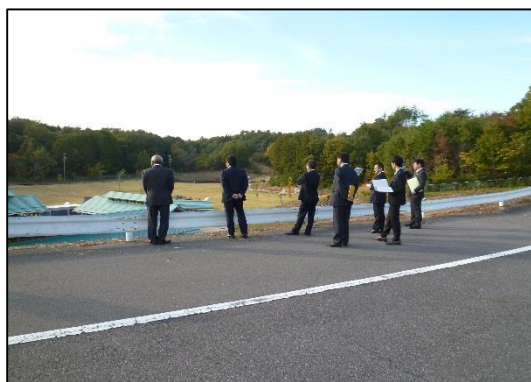
中池公園は、関市北部の中池沿いの緑豊かな丘陵地に昭和39年にオープンし、現在は54.6haの敷地に陸上競技場、市民球場やテニスコート等の社会体育施設や徳山村古民家を移築したやすらぎの広場等の文化的施設が整備され、中池をめぐる遊歩道は市民の散策コースになっている。

●中池公園の建設に至った過程

自然に恵まれた中池周辺を市民のいこいの場として、また幅広く利用していこうと、スポーツ施設や教育施設の整備を計画した。

昭和36年度に都市計画決定され、昭和39年度に最初の施設として陸上競技場が整備されました。その後、現在に至るまで公園計画区域の拡大とともに、各種運動施設が整備され、近年においてはファミリーゾーンなど新しい施設を加え、総合運動公園として施設の充実を図っている。また、中池公園マスタープラン検討委員会を開催するなど既存、拡充エリアの課題、体育協会の要望を取り組んだ「中池公園マスタープラン」を平成20年3月に更新し中池公園の整備が平成27年度に完了した。

地域住民との協議は、集落から離れていることもあり、特に行っていない。しかし、運動施設の建設、改修時には検討委員会の開催や関市体育協会の意見を求めている。



委員の現地視察

●公園の課題と対策

現状の課題	対策
公共交通機関が離れており不便	市内巡回バス、岐阜バスに路線変更の依頼をしている。
施設での大会やイベントが重なった場合は駐車場が不足する。	場所が点在しているが、駐車場を増設。
公園内の道路が狭い。 全ての施設がバリアフリーに対応していない。	施設の改修に併せて、随時対応をしている。
プール、市民球場など老朽化により改修、修繕が必要。	今後、長期的な計画を立てて、改修していく。

【所感】

岐阜県関市では、担当者からの説明を受け現地への視察を行った。関市では昭和39年に陸上競技場の整備をはじめとし、最近まで計画的に新設、改善が行われていた。

利用者数の面では、4ページに記載したとおり年々減少していることが分かる。これだけの施設が整備されているので、利用してこそその価値があると思う。イベントの積極的な開催や、プロスポーツクラブの誘致など建設するだけでなく、利用促進を図る必要性もあると改めて再認識した。

本市でもこれからの施設整備にあたり、様々なことを想定しつつ、また市民ニーズにあったスポーツ公園にしていく必要がある。今回の研修で学んだことを参考にしたい。



委員による質問

II 研修内容のまとめ

日 時：平成29年11月8日（水）

視 察 地：静岡県御前崎市

研修内容：市民プール「ぷるる」の整備事業について

●御前崎市の概要

御前崎市は静岡県静岡市と浜松市のほぼ中央、静岡県の最南端に位置している。温暖な気候や長い日照時間などの恵まれた気候をいかした、さつまいもやお茶、メロン、いちご、トマトなどが盛んに栽培されており、近年では幻の高級魚「クエ」やブランド牛肉「遠州夢咲牛」にも注目が集まっている。

2009年には「富士山静岡空港」が開発され、今後は陸海空の玄関口としてさらなる発展と、人々の交流が進むと予想されている。



河杉委員長挨拶

●施設の概要

指定管理者	公益財団法人 御前崎市振興公社	
屋内プール	25mプール	6コース 水深1～1.2m
	子供プール	水深0.5m
	リラクゼーションプール	水深1m 水温36℃ 気泡・打たせ湯完備
	採暖室	60～70度の遠赤外線
屋外プール	流水プール	1周82.5m 幅5m 水深1m
	ウォータースライダー	①高低差9.5m 全長82.2m ②高低差6.6m 全長56.1m
	子供プール	着水部 水深0.7m 幼児部 水深0.5m
	ウォータースライダー (子供用)	高低差2.9m
	渚プール	水深0～0.4m

※その他トレーニングルーム、スタジオ、浴室などもある。

●利用料金

◆個人利用

利用区分	当日利用券	備 考
3歳～中学生	300円	小学校3年生以下は保護者同伴
高 校 生	600円	
大 人	600円	
70歳以上	300円	
障 が い 者	無 料	介護が必要な方に限り2名まで入場無料

◆会員利用

利用区分	1年	6ヶ月	3ヶ月
3歳～中学生	19,000円	10,000円	5,000円
高 校 生	29,000円	15,000円	10,000円
大 人	38,000円	20,000円	10,000円
70歳以上	19,000円	10,000円	5,000円
法 人	240,000円	1口・・・利用引換券600枚	
	180,000円	1口・・・利用引換券400枚	
	100,000円	1口・・・利用引換券200枚	

●事業計画について

「浜岡町国土利用計画」に示された「町民健康福祉ゾーン」内の大兼地区に、体育・スポーツの振興と健康・体力の増進の中心的機能を持つ施設として、「プール」施設を整備。（電源交付金を活用した地域活性化のための環境整備）

◆事業費用

種 別	請負金額（千円）
建築工事	1,632,015
電気工事	192,654
機械設備工事	458,388
造成・外溝・ 修景工事	1,218,432
測量工事	216,676
用地・補償等	472,475
初年度調弁費等	79,360
総事業費計	4,270,000



室内プール

※総事業費のうち電源立地対策交付金 1,117,991千円（約26%）

◆設計計画のポイント

- ・明るくゆとりのある空間、語らい集まる空間
- ・健康志向の取り組み
- ・広範囲な客層の取り組み
- ・アミューズメント機能の拡充
- ・クリーンな水の追求
- ・身障者への対応



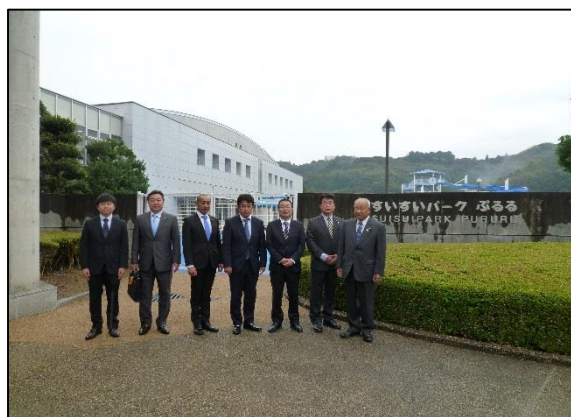
担当者からの説明

●施設の開設後に判明した課題

◆室内プールの温度管理

冬場の温度低下。想定以上に冷え込み、プールの室温・水温が低下した。プール室内の床暖房は必須であり、館内の冷暖房は個別につけることを考慮する必要がある。

【所感】



市民プール前にて

御前崎市の市民プール「ふるる」では、室内・屋外プールだけではなく、トレーニングルームやスタジオプログラムが充実していた。私たちが視察に伺ったときも、平日の日中にもかかわらず多くの利用者の姿があった。その背景には、利用料金の安さや、スタッフやトレーナーの方が常駐し、安心して利用できる環境が整備されている影響があると考えられる。

夏季に使用する屋外プールでは、利用者の中心となる子どもたちを楽しませる流水プールや、ウォータースライダーが整備されており、こちらも充実した設備となっていた。

本市においても老若男女問わず、多くの方に利用していただける施設にしていきたい。

報告者 建設水道委員会委員長 河杉博之